

## **Ⅶ 令和2年度 九州地区研究大会報告**

# 令和2年度九州地区盲学校教育研究会・鹿児島大会

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため、予定されていた事項のみ報告する。

## 1 大会概要

- (1) 期 日 令和2年11月20日(金)
- (2) 場 所 鹿児島県立鹿児島盲学校

## 2 内容

### (1) 第1分科会(学習指導1)

テーマ: 「つなぐ」「つながる」場としての学校図書館の現状と課題

協議題: 「図書を通じた児童・生徒間のつながりとその課題」

「図書館充実をめざした取組とその課題」

研究発表「大分県立盲学校図書館の現状と課題ー「つなぐ」「つながる」場をつくるためにー」  
(大分県立盲学校)

### (2) 第2分科会(学習指導2)

テーマ: 視覚障がい児童生徒に対する観察・実験の指導について

協議題: 「問題解決力を育成するための指導のあり方」

「理科指導における各教科との関連」

研究発表「児童が根拠をもった予想を発想することができる理科学習

ー各教科等や日常生活との関連を重視した活動設定を通してー」

(福岡県立福岡視覚特別支援学校)

### (3) 第3分科会(生活)

テーマ: 寄宿舎の指導・支援における学校との連携の在り方

協議題: 「学校と寄宿舎との連携について」

「寄宿舎生の生活課題への取り組みについて」

「感染症対策(コロナウイルスへの対応)について」

研究発表「学校と寄宿舎との連携した取組ー生活指導を通してー」

(長崎県立盲学校)

### (4) 第4分科会(特別支援)

テーマ: 視覚障害特別支援学校としてのセンター的機能充実のために

協議題: 「早期相談や乳幼児教育相談・巡回相談等における現状と課題」

「地域のセンター校としての関係機関とのネットワーク構築の在り方」

研究発表「乳幼児支援に関する取組の現状と課題」

(福岡県立柳河特別支援学校)

### (5) 第5分科会(理療)

テーマ: 施術におけるコミュニケーションスキルの育成とその評価について

協議題: 「コミュニケーションスキルを高めるための具体的な指導と評価方法について」

「臨床前評価の取り組み状況について」

研究発表「臨床実習における医療面接の構造化についての検討

ーコミュニケーション面に課題のある生徒への対応を通してー」(熊本県立盲学校)

## 3 報告

本大会は中止となったが、九州地区盲学校・視覚支援学校での取組等を共有することとなった。各分科会の発表原稿をもとに協議題を決め、各校から返送されたアンケートの集計及び情報提供は本大会主管校が行う。現時点で集約された情報はまだ届いてはいるが、届き次第、校内サーバーにおいて情報共有を行いたい。

## 第25回 九州地区聴覚障害教育研究大会（北九州大会）

### 1 大会概要

- (1) 大会主題 「新たな時代を生き抜く子どもを育む魅力ある聾学校を目指して」  
～変化する社会情勢の中で聾学校が果たすべき役割～
- (2) 期 日 令和2年10月29日（木）から30日（金）まで
- (3) 場 所 福岡県立小倉聴覚特別支援学校及び福岡県立直方特別支援学校

### 2 内 容

#### 【1日目】

- (1) 公開授業
- (2) 指定授業
- (3) 授業研究協議会
- (4) 研究協議会
- (5) 記念講演

#### 【2日目】

- (1) 分科会

### 3 報 告

今年度の研究大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙面発表のみとなった。

来年度は、本県において開催されるが、同じく新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで実施する計画である。毎年本研究大会に参加できるのは、各校とも限られた人数に制限されるため、オンデマンドでの配信も含めると、より多くの会員が学びの場を得られるのではないかと考える。そこでは、例年の分科会という形ではなく、教科毎での研究協議など、きめ細かなニーズに対応できるような内容になるよう、現在検討中である。

「ポストコロナ」を視野に入れながら、これまでとは違った形での本研究大会の実施の在り方を提案できるとよい。

## 第44回 九州地区難聴・言語障害教育研究会大分大会

### 1 大会概要

- (1) 大会主題 「 これからの難聴・言語障害教育のあり方を考える 」  
～ 子どもや保護者のニーズに応える支援や連携をめざして ～
- (2) 期 日 令和2年7月30日(木)～31日(金)
- (3) 場 所 コンパルホール(1日目)(2日目)

### 2 内 容

- (1) 全体会(記念講演)「ことばの遅れ、言語発達障害、言語学習障害」  
講師 田中 裕美子 氏(大阪芸術大学 初等芸術教育学科 教授)
- (2) 分科会 提案1・2
  - ① 第1分科会「構音」
  - ② 第2分科会「吃音」
  - ③ 第3分科会「言語発達」
  - ④ 第4分科会「聴覚」
  - ⑤ 第5分科会「連携」

### 3 報 告

本年度の大会は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となった。

来年度の第45回九州難聴・言語障害教育研究大会は本県での開催となる。「これからの難聴・言語障がい教育を考える～子どもや保護者のニーズに応える支援や連携をめざして～」との大会主題のもと、令和3年7月29日(木)から30日(金)までの二日間、宮崎市民プラザで開催する予定である。

記念講演では、「みんながつながって共生社会の担い手を育む～10年後の社会を思い描きながら～」との演題で、国立特別支援教育総合研究所の上席総括研究員である久保山茂樹氏よりお話をいただく。また、分科会は例年同様「構音」「吃音」「言語発達」「聴覚」「連携」の五つの内容で実施し、それぞれ実践発表と助言者によるミニレクチャーを計画している。

## 第54回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会「長崎大会」

### 1 大会概要

- (1) 大会主題 「共生社会の中で、志をもち自分らしく生きる子どもたち」  
～学びの連続性を推進する新たな教育課程の創造～
- (2) 期 日 令和2年10月29日(木)～10月30日(金)
- (3) 場所(会場) 第1日目(全体会)長崎ブリックホール  
第2日目(学校見学及び分科会)長崎市内等の小学校・中学校・高等学校  
特別支援学校 長崎市民会館

### 2 内 容

- (1) 第1日目(全大会・理事評議員研究協議会)
- ① 開会式・表彰式 ② 研究報告 ③ 行政説明・基調報告  
④ 記念講演 演題 『学びの連続性を推進する新たな教育課程の創造』  
講師 長崎県教育庁 特別支援教育課 課長 分藤 賢之 氏  
⑤ 閉会式 ⑥ 理事・評議員研究協議会
- (2) 第2日目(学校見学等・分科会)
- ① 分科会(全15分科会)

	分科会名	分科会テーマ	提案者
1	早期からの特別支援教育	早期からの支援と幼保小の連携	和歌山県・長崎県
2	地域との連携	共生社会の実現を目指した支援体制	名古屋市・長崎県
3	交流及び共同学習	共生社会の充実につながる交流及び共同学習	島根県・長崎県
4	障害者スポーツ・文化芸術活動	生涯にわたる豊かな生活の実現につながる取組	神奈川県・長崎県
5	通級による指導	一人一人に応じた効果的な指導	福岡県・長崎県
6	通常の学級における合理的配慮と授業改善	全ての子どもに分かりやすい授業づくり	佐賀県・長崎県
7	高等学校における特別支援教育	特別支援教育の推進	長野県・長崎県
8	教科別の指導① (小学校・小学部段階)	主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善	神戸市・長崎県
9	教科別指導② (中学校・中高等部段階)	主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善	宮崎県・長崎県
10	キャリア教育	キャリア発達を促すキャリア教育	徳島県・長崎県
11	就労支援	関係機関と連携した就労支援	石川県・長崎県
12	自立活動	指導すべき課題を明確にした自立活動の指導	宮城県・長崎県
13	各教科等を合わせた指導①(作業学習)	一人一人が主体的で自立する力を育む作業学習	秋田県・長崎県
14	教科等を合わせた指導②(日常生活の指導・生活単元学習)	ライフキャリアの視点を踏まえた日常生活の指導・生活単元学習	大分県・長崎県
15	健康・安全教育	命を大切にする力を育む健康・安全教育	北海道・長崎県

### 3 報 告

今回の研究大会は、第59回全日本特別支援教育研究連盟全国大会「長崎大会」と合同開催する予定であったが、新型コロナ感染拡大予防のため中止となった。

来年度は、熊本県で開催予定である。

# 第57回九州地区肢体不自由教育研究大会沖縄大会

## 1 大会概要

- (1) 大会主題  
「学習指導要領に基づく肢体不自由教育校の“生きる力”を育む教育活動の充実を図る」
- (2) 期 日  
令和2年10月14日(水)～10月21日(水)
- (3) 開催形式 <Webでの開催>  
第57回九州地区肢体不自由教育研究大会特設ホームページ

## 2 内 容

- (1) 全体会 (会長挨拶文 実行委員長挨拶文 文部科学省講話資料を掲載)  
行政説明「特別支援養育の動向と肢体不自由校に期待すること」  
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 菅野和彦氏
- (2) 第1分科会～第7分科会提案資料 (同期間にWebサイト上での公開)

分科会	内容
第1分科会	教育課程・授業改善
第2分科会	学習指導(準ずる教育課程・下学年 / 知的代替の教育課程)
第3分科会	自立活動
第4分科会	情報教育・支援機器の活用
第5分科会	センター的機能・健康教育
第6分科会	PTA・地域との連携
第7分科会	生活指導・寄宿舎教育

- (3) 第2、第5分科会に係るポスター発表 (同期間にWebサイト上での公開)  
沖縄県立鏡が丘特別支援学校の学習指導案 (同期間にWebサイト上での公開)
- (4) 次年度九肢研宮崎大会実施要項案及び令和4年度大分大会大会骨子

## 3 報 告

菅野氏による紙面による行政説明では、「新型コロナウイルスに伴う学校再開等支援」及び「学校の段階的再開に伴う児童生徒等の学びの保障」の取組、「GIGAスクール構想の加速による学びの保障及び障害のある児童生徒のための入出力支援装置の整備」の取組について記されていた。その中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学びを保障する手段としての遠隔・オンライン教育などICTによる学校教育が必要不可欠になってきていること、また肢体不自由のある児童生徒に対してスイッチや視線入力装置などにより、ICTを活用した児童生徒の学びを保障できる環境を整備していることなどが記されていた。

分科会では、1つの分科会に2つの提案がPDFでなされ、発表された。Web形式での発表であったため、全部の分科会を閲覧でき、研修を深めることができた。

また、学習指導、センター的機能・健康教育に関するポスター発表が行われたが、学習指導に関するポスター発表では、いろいろな教科の実践研究や授業改善につながる目標設定と学習評価など、授業を組み立てて評価していく上で、参考にしたい内容が掲載されていた。

## 第60回 九州地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会 長崎大会

### 1 研究主題

「 病弱虚弱教育の今後の在り方を求めて ～新学習指導要領をふまえて～」

### 2 主な研究・活動の内容

(1) 期 日 令和2年8月19日(水)～21日(金)

(2) 会 場 ホテルセントヒル長崎

(3) 内 容

8月19日(水) 大会前日	校長会・理事会 分科会打ち合わせ
8月20日(木) 大会1日目	<p>総 会</p> <p>講演Ⅰ</p> <p style="padding-left: 20px;">演題 「 病弱教育の動向 ～省令改正、通知等を踏まえて～」</p> <p style="padding-left: 20px;">講師 文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草 瑞世</p> <p>分科会</p> <p>第1分科会 教科指導・自立活動</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマ「<span style="float: right;">」</span></p> <p style="padding-left: 40px;">提言者 鹿児島県立 加治木養護学校 今掛 ひとみ</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマ「<span style="float: right;">」</span></p> <p style="padding-left: 40px;">提言者 長崎県立 大村特別支援学校 田川 美佳</p> <p>第2分科会 進路指導・キャリア教育</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマ「<span style="float: right;">」</span></p> <p style="padding-left: 40px;">提言者 福岡市立屋形原特別支援学校 西川 和輝</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマ「<span style="float: right;">」</span></p> <p style="padding-left: 40px;">提言者 熊本県立黒石原特別支援学校 徳永 明香</p> <p>第3分科会 地域のセンター的役割</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマ「<span style="float: right;">」</span></p> <p style="padding-left: 40px;">提言者 福岡県立古賀特別支援学校 狩野 順彦</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマ「<span style="float: right;">」</span></p> <p style="padding-left: 40px;">提言者 佐賀県立中原特別支援学校 瀬尾 裕子</p>
8月22日(木) 大会3日目	<p>分科会報告</p> <p>講演Ⅱ</p> <p style="padding-left: 20px;">演題 「<span style="float: right;">」</span></p> <p style="padding-left: 20px;">講師 児童心理治療施設 大村椿の森学園 園 長 山口 和浩</p> <p>閉会行事</p>

### 3 報告

本年度は計画策定のさなか、新型コロナウイルス感染症対策のため大会が中止となり、紙上での発表になった。

## 第48回九州地区情緒障害教育研究会「宮崎大会」(中止)

### 1 大会概要

- (1) 大会主題 「未来につなぐ特別支援教育の推進」  
～個別の教育的ニーズに応じた支援の在り方～
- (2) 期 日 令和2年7月30日(木)、31日(金)
- (3) 場所(会場) 宮崎市 ホテル ニューウェルシティ宮崎

### 2 内 容 (予定されていたもの)

7月30日(木)九州地区情緒障害教育研究会理事会及び研修会

7月31日(金)記念講演・分科会・分科会別講座

- (1) 開会行事
- (2) 記念講演  
講師 兵庫教育大学 准教授 小川 修史 先生  
演題 「発達障害の子供たちに対する合理的配慮について一緒に考えてみませんか」(仮題)
- (3) 分科会
  - ① 第1分科会「自閉スペクトラム症(ASD)」
    - 長崎県長崎市立上長崎小学校 西岡 英津子 教諭  
「自閉スペクトラム症児に対する支援について」  
～なぜかな? どうしてだろう? の視点を大切に～
    - 宮崎県宮崎市立檜中学校 藤田 司 指導教諭  
「自閉スペクトラム症(ASD)の生徒への支援と指導の実践」
    - 指導助言・分科会別講座 宮崎大学教育学部 准教授 中井 靖 先生
  - ② 第2分科会「LD・ADHD」
    - 鹿児島県鹿児島市立中山小学校 清藤 大嗣 教諭  
「学習の土台を固め, 楽しさを味わわせる指導法」  
～通級指導教室での実践から～
    - 熊本県熊本市立東町小学校 森川 義幸 教諭  
「新型コロナ感染拡大防止のための休校における遠隔授業の取り組み」  
～休校中の取り組みを今後の支援に生かすために～
    - 指導助言・分科会別講座 公認心理師 臨床心理士 鮫島 奈緒美 先生
- (4) 閉会行事

### 3 報 告

今年度の第48回九州地区情緒障害教育研究会宮崎大会は、新型コロナ感染拡大予防のため、開催を中止した。

提案発表を予定していた各県の先生方の資料を集約し、研究集録を作成した。集録はCD-Rにし、九州各県や県内に配付した。また、宮崎県情緒障がい教育研究部会のホームページに掲載している。

来年度は、福岡県で令和3年8月5日、6日に開催予定である。